

第3章 本県がめざすべき教育の姿

1 基本理念

グローバル化、少子高齢化が進む中、日本の基礎科学や技術開発力、産業競争力の低下が懸念されています。次の世代を担う子どもたちが、この激動の時代を生き抜くための多様な能力や資質を身に付けることは急務であり、教育の充実は、私たちの最も大きな責務の一つです。

また、本県は、子どもたちの学力・体力の全国調査の結果等から、教育県・福井としての評価が定着しつつあります。

学力が向上することは、子どもたちに学ぶ楽しさや喜びを与え、さらに学ぶ意欲や挑戦する気持ちを喚起させるとともに、「生きる力」の基礎を作り、ひいては子どもたちの将来への可能性を広げることにもつながります。

そこで、福井県教育振興基本計画において、福井県の教育の基本理念を

夢と希望に向かって、豊かな心でたくましく生きる力を育む教育県・福井

とします。

地域全体の高い教育力をベースに、豊かな心とたくましく生きる力を育み、将来、社会人として自立し活躍できるよう、子どもたちが自らの将来に「希望」を持って粘り強く学び、行動する「挑戦力」を最大限に伸ばす教育を、県民や企業などの幅広い協力と参加の下で推進します。

そのため、教員が子ども一人ひとりと向き合って、基礎・基本を重視した教育を進めます（「ていねいな教育」）。

- 1 学力の向上については、学力調査の結果分析を徹底し、一人ひとりの課題解決に重点を置き、少人数教育によるきめ細かな指導により、基礎・基本の定着を図るとともに、読解力や活字力の向上をめざした授業づくりを進めます。
- 2 体力の向上については、体力・運動能力テスト等の結果分析を基に、体力向上をめざした学校体育を進めるとともに、運動部活動において、一人ひとりの資質や能力と種目の特性に応じた指導法等により、より高い技能の習得を図るなどして、スポーツの楽しさや喜びを味わえるよう進めます。
- 3 家庭・地域と連携しながら、道徳教育や人権教育、ふるさと教育、文化に親しむ環境づくりなどを進め、基本的な生活習慣の確立や規律ある態度の育成、豊かな心の醸成を図ります。

さらに、一人ひとりの資質や能力をより一層伸ばすため、子どもたちが自信とグローバルな視野を持ち、夢や希望に向かって挑戦しようとする基礎を築きます（「きたえる教育」）。

- 1 学力・体力の基礎を養う幼児期から高等学校にいたるまでの接続を重視した「福井型 18 年教育」を確立するとともに、英語教育やサイエンス教育を充実し、挑戦する意欲や応用力、創造力を育みます。
- 2 運動部活動への地域指導者の導入や複数校合同での練習、総合型地域スポーツクラブや各競技団体との連携を通して、ジュニアから成年までの競技力の向上を目指します。
- 3 第一人者とのふれ合いや地域で活躍している専門家との交流、豊かな自然の中での体験活動をはじめ、文化活動、社会貢献活動等を通して、ふるさとへの誇りや社会に貢献しようとする意欲を育みます。

これらの方針に基づいて、学校・家庭・地域をはじめ地元企業や大学等県民全体の教育力を結集し、次の時代を担う「人づくり」を進めます。

<福井県が進める「人づくり」>

- 1 知・徳・体のバランスがとれ、生涯にわたって自らの夢や希望の実現に努力する人
- 2 地域社会や文化の創造に積極的に参画する人
- 3 ふるさとへの誇りとグローバルな視野を持ち、主体的に行動する人

2 基本目標

前述した基本理念に基づいて、今後5年間（平成23年度～平成27年度）に取り組む教育施策の6つの基本目標を示します。

基本目標1 生きる力につながる確かな学力の育成

子どもたちに基礎・基本の徹底を図り、確かな学力を身に付けさせるとともに、サイエンス教育や英語教育など時代の進展に対応する教育を推進します。

また、幼児教育やキャリア教育、特別支援教育を推進し、子どもたちが自立して生きていくための基礎となる力や創造力を育みます。

基本目標2 豊かな心と健やかな体の育成

道徳教育の一層の推進や体験活動の充実などにより、子どもたちの豊かな心を育むとともに、いじめや不登校、高等学校中途退学、非行・問題行動などの課題に取り組みます。

また、健康の保持増進や体力の向上などにより健やかな体を育成します。

基本目標3 信頼される学校づくりの推進

教職員の資質の向上や学校運営の改善、学習環境の整備・充実などにより、質の高い学校教育を推進します。

また、魅力ある学校づくりを進めるとともに、特色ある私学教育の振興を図ります。

基本目標4 家庭・地域の教育力の向上

子どもたちが学力や体力だけでなく、たくましく、心豊かに生きていくための総合的な力を身に付けるためには、家庭教育の充実や家庭・地域との連携が必要不可欠です。

本県の地域性を十分生かした、家庭・地域と学校との連携を充実します。

基本目標5 生涯学習とスポーツの振興

社会の要請と県民の学習ニーズに応える質の高い学習機会を提供し、活力ある生涯学習社会を実現します。

また、平成30年の国民体育大会の開催を契機として、県民が生涯にわたって身近にスポーツを楽しめる環境をつくります。

基本目標6 心豊かな文化の振興

県民が芸術・文化に身近なところで触れ、文化に関心を持ってもらうきっかけをつくるとともに、そこで生まれた関心を本格的な文化活動へとつなげていくような場を設けるなど、暮らしの中で文化を楽しむ風土をつくります。

基本理念

福井県が進める「人づくり」

基本目標と5年間の施策の展開

夢と希望に向かって、豊かな心でたくましく生きる力を育む教育県・福井

1

知・徳・体のバランスがとれ、生涯にわたって自らの夢や希望の実現に努力する人

2

地域社会や文化の創造に積極的に参画する人

3

ふるさとへの誇りとグローバルな視野を持ち、主体的に行動する人

基本目標1 生きる力につながる確かな学力の育成

1-1 確かな学力の育成

- ① 知識・技能の確実な習得と活用力の育成
- ② 少人数教育によるきめ細かな指導の推進
- ③ 教員の指導力向上
- ④ 理科・数学教育の充実
- ⑤ 国際人を育成する英語教育の充実
- ⑥ 情報教育の充実
- ⑦ 白川文字学による独自の漢字学習の推進

1-2 地域産業を担う人材の育成

- ① キャリア教育の充実
- ② 高等学校での職業教育の推進

1-3 幼児教育の推進

- ① 幼児教育の推進

1-4 特別支援教育の推進

- ① 特別支援学校の適正配置と機能の充実
- ② 一人ひとりのニーズに応じた特別支援教育の充実

基本目標2 豊かな心と健やかな体の育成

2-1 豊かな心の育成

- ① 道徳教育の充実
- ② 人権教育の充実
- ③ 豊かな体験活動の推進
- ④ 環境教育の推進
- ⑤ ふるさと教育の推進
- ⑥ 読書活動の推進

2-2 健やかな体の育成

- ① 体力・運動能力の向上
- ② 健康教育の推進
- ③ 食育の推進

2-3 生徒指導・教育相談体制の充実

- ① 不登校対策の充実
- ② 生徒指導・教育相談体制の充実

基本目標 3 信頼される学校づくりの推進
3-1 学校マネジメント改革の推進
① スクールプランの達成と教職員評価システムの構築
② 部活動改革の推進
③ 学校・家庭・地域が一体となった教育の推進
④ 小規模校での教育の振興
⑤ 小・中学校の統廃合への適切な対応
3-2 県立高等学校の再編整備と魅力ある学校づくり
① 県立高等学校の再編整備と魅力ある学校づくり
3-3 私学教育の振興と支援の充実
① 特色ある私学教育の振興
3-4 安全・安心な学校づくり
① 学校施設の耐震化の推進
② 安全対策の充実
③ 防災教育の充実
基本目標 4 家庭・地域の教育力の向上
4-1 家庭・地域の教育力の向上
① 家庭の教育力の向上
② 地域の教育力の向上
基本目標 5 生涯学習とスポーツの振興
5-1 生涯学習の振興
① 生涯学習環境の充実
5-2 生涯スポーツの振興
① スポーツを通じた健康づくりの推進
② 平成 30 年の福井国体に向けた競技力の向上
基本目標 6 心豊かな文化の振興
6-1 身近に文化を感じる環境づくり
① 「見る」から「楽しむ」「参加する」文化へ
② 文化施設をもっと身近に
6-2 文化教育の推進
① 文化教育の推進
② 文化の創り手・演じ手の育成
6-3 「文字の国 福井」の推進
① 「文字の国 福井」の推進

1 計画の周知と

県民の意見の把握

計画の内容について広く周知するとともに、施策の進捗状況については県のホームページ等で積極的に広報します。

教育に対する県民の意見や要望を把握するよう努めます。

2 福井県の実情に即した

独自性のある教育施策の推進

学校、家庭、地域の連携を基礎として、他県に先駆けて進めてきた教育施策をさらに拡大・発展させ、地方からの教育改革を実現します。

3 市町・関係機関・関係団体

との連携

各施策を円滑かつ効果的に展開できるよう、市町教育委員会だけでなく、企業や NPO 等の民間団体等とも連携を図りながら、計画を進めていきます。

